

令和5年度 地域ケア圏域会議 実施結果

高齢者あんしん相談センターむさしの

日時及び場所	参加者	討議内容(地域課題・対応・今後の課題など)
7月12日(水) 13:00～14:00 場所:南畑公 民館2階会議 室	医師 1名 薬剤師1名 町会長1名 民生委員・地区代表 4名 介護支援専門員3名 生活支援コーディネー ター 1名 ボランティアセンター 1名 高齢者福祉課1名 健康増進センター 2名 高齢者あんしん相 談センター5名 計20名	「新型コロナウイルス第5類への移行により、町内会での持続可能な地域づくり～外に出て地域活動を 続けていくためには～」 《ケース概要》 ・新型コロナウイルス感染拡大に伴う問題点 コロナ禍における活動制限に伴い、閉じこもり・活動不足・心身のストレス増大・健康状態の悪化・物 忘れや認知症の発症・必要な医療機関への受診が滞ること等に繋がった。 ・新型コロナウイルス5類への移行により、どう変わったのか 陽性者・濃厚接触者に対する法律上の制限がなくなり、自宅待機期間の変更や表現方法が変更にな ったが、活動を再開すると感染が広がる可能性がある。今後、どのように地域で取り組んでいったら 良いか検討した。 《対応》 ・羽沢1丁目町会での今後の持続可能な地域づくりに向けて 地域づくりについて、具体的な対策はしていないが、コロナ禍も役員会は休まず開催し、パワーアップ 体操や老人クラブは再開している。また、体育祭や敬老会も再開予定。感染状況の情報がメディアから 入らなくなり、不安が大きい中、活動を再開するとコロナがうつったり、うつされたりするのではないかと 用心深くなるが、コロナ禍でもパワーアップ体操を続けたクラブがあるが、蔓延はしなかった。反対にコ ロナ禍で活動を休止した団体が活動を続けられなくなることも増えた。活動を制限するより、継続し、人 と人との繋がりを作っていくことが大切だと思われる。町会の組織は、その役割を担っている。 ・民生委員などが自宅訪問する場合や集団での活動については、ワクチン接種を受けたり、マスク着用 でうつす力を減らすことで、ある程度対策できる。 《今後の課題》 ・元(コロナ禍前)の地域に戻すには時期が早いと思うが、町会活動を継続させ、いろいろな世代で交流 を図ることで、横のつながりができ、効率的な見守りができる。持続可能な地域づくりに繋げるために、 感染に留意しながら、以前のような活動を復活させたり、新たな地域活動を始めることが必要である。
2月14日(水) 13:00～14:00 場所:南畑公 民館2階会議 室	医師 1名 薬剤師1名 町会長1名 民生委員9名 介護支援専門員3名 生活支援コーディネー ター 1名 高齢者福祉課1名 健康増進センター 2名 高齢者あんしん相 談センター5名 計24名	『地域での運動を通じた介護予防の取組みについて(3) ～南畑地域の高齢化率の変化に伴い、これから私達にできること～』 《ケース概要》 新型コロナウイルスの流行により、第5町会のパワーアップ体操の参加人数が少なくなり、地域活動の 規模が縮小してきている。高齢化率の変化と合わせ、身近な地域である町会ではどのような取組み が考えられるか。 地域の高齢者が集まる居場所として貴重な社会資源の継続と今出来ることを探りたい。 《対応》 ・民生委員を含め、支援する側の一人一人にかかる負担が大きくなってきているかなと感じている。複 数人で見守る策を検討する他、パワーアップ体操などで地域の方とよく関わる機会がある健康増進セ ンター等の施設の活用はどうか。 ・交通手段と地域の場所の確保は必要性が高く思える。市の負担が増える形にはなるが、例えば町 会等で集会があるときに臨時バスを出してもらうなど行政面の支援も考えないといけない時期に来てい ると感じる。 ・高齢者だけの集まりで見のではなく、幅広い世代交流の場として、子供会も合同で巻き込んでみて はどうか。 ・臨時バスをもっと増やせないか ⇒要望として話は出ていることは把握しているが、市の予算もあり今すぐに決めることは難しい。 ・昔から住んでいる農家他の方は、地域の行事には顔を必ず出すなど地域の繋がりが残っている。一 方で新しく引っ越しされて来た方々をどう地域に取り込んでいくか、新しい関わり方を作っていく必要が あるのでは。 ・移動販売の話でも感じたが、高齢者の方が自身で向かえる居場所があればより地域も元気になるの ではないかと思う。 《今後の課題》 ・動きつつある移動販売のなどの話もあるが、移動販売に限らず、地域の小さな問題や他の居場所作 りなど、その隙間を埋めていくのが重要な課題ではないか。話し合った内容を踏まえ一人一人の意識 が持てるように定期的に民生委員を含め、地域の方々と行政とで関わりを作ることで、地域の実情に対 応できる取組みを構築していく。
3月28日(木) 13:00～14:00 場所:南畑公 民館2視聴覚 室	東入間警察署 1名 医師 1名 民生委員 5名 薬剤師 1名 介護支援専門員 3名 生活支援コーディネー ター 1名 福祉課 1名 高齢者福祉課 1名 高齢者あんしん相 談センター 5名 計 19名	「地域で考える高齢者の防犯対策」 《ケース概要》 渡戸3丁目のケース:高齢化率は全国平均よりやや上回っている。後期高齢者率は上昇傾向の地域。 この地域で増加している、高齢者に向けた犯罪の実状を、東入間警察署生活安全課の方に現状の犯 罪や特殊詐欺などの内容や対策等ご教授頂く。 《対応》 最近の犯罪は特殊詐欺とその他の犯罪に分別。その他犯罪は屋根の修理業者の事案がとても多い。 屋根に上がらせてもらえれば無料診断できるなど勧誘。富士見市在住の方は、お断りをして留められて いるようであるが、埼玉県下では、屋根に上げてしまい業者が破損、その画像を見せ、そもそも画像が 別の壊れた家の画像を見せ、工事を推奨するように誘導され契約してしまうケースがある。請求金額 が何百万になることもある。訪問販売にあたるので、一概にすべての訪問販売が悪いという事ではな い。しかし突然来て、家に上がらせてほしい等の話に関しては、怪しんでいいと思われる。注意が必 要。多い犯罪は、特殊詐欺(振り込め詐欺)。自宅や携帯電話に電話がかかり、何かにしろの振り込み をさせていくケース。県内での被害額2500万円/年。かけ子は1件にあたり30件はかけているのが現 状。警察署内にそういった情報があった時は、市役所経由で、市内放送注意喚起依頼している。 《今後の課題》 ・訪問時はインターホン越しで話す。玄関の施錠。開けてしまってもドアチェーン越しにする。 ・家の中に人を上げないようにする。家屋の事は担当のハウスメーカーに相談する。数社と相見積もり をとる。日頃から家族と相談できるように関わる。 ・怪しい訪問者は東入間警察に一報し情報提供していく。 ・不用品回収等で、積み込んだ後に請求額を言われるケースがあるので、先に費用は確認が必要。震 災後などの不安に付け込んだ屋根業者による悪徳商法等が起こりやすい。 ・認知症で判断ができない方もいる。スマートホンでインターネットの商品を購入したら定期購入になっ てしまい、解約できなく困った方の支援を行った。警察署で頂けるチラシ等を居宅事業所にもいただけ ると、利用者宅にお配りできる。警察署に連絡すれば頂ける。多職種による関りからの注意喚起の周 知。 ・特殊詐欺、昨年富士見市内5件。最近では電話で、近くのコンビニや農協ATMなどに呼び出され、遠隔 で誘導させて振り込ませる等あり。海外電話18始まりや050、03なども多いため注意が必要。怪しい電 話はないよう対応する。チラシやステッカー配布。留守番電話設定。振り込め詐欺対策機能付き電話 の購入。(補助金の申請可能。共同推進課)